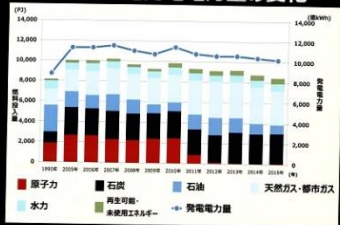
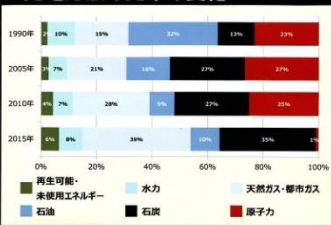


# 原子力とその他の発電どうなるの？

・燃料投入量と発電電力量の変化

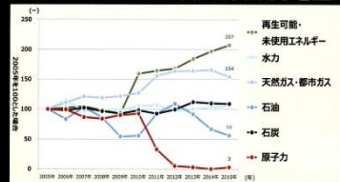


・発電方法の比率の変化

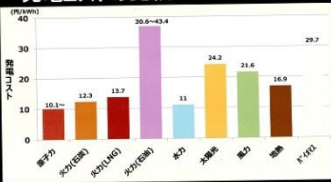


東日本震災以降、原子力発電の比率は、急激に減少した。それを補ったのは火力発電（石炭、LNG）であった。

・2005年を100とした場合の発電量の変化

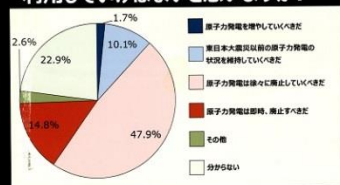


・発電コストの比較

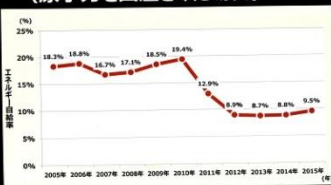


再生可能エネルギーも増加しているが、全体に占める割合が低い。コストなど普及に課題がある。

・今後日本は、原子力発電をどのように利用していけばよいと思いますか？



・エネルギー自給率の変化（原子力を国産とみた場合）



原子力発電の利用は、否定的な意見が63%を占める。東日本大震災以前の維持を含む肯定的意見は、12%と少ない。日本は、エネルギー自給率が低いため、原子力や再生可能エネルギーをどのように活用していくのが課題である。

○ 講評

日本の発電の現状について様々な観点から調べ、今後の私たちの生活について考えさせられる作品です。パソコンの機能を有効に使い、それぞれのグラフが大変見やすく仕上げられています。

東日本大震災以降、原子力発電の比率が減少する一方火力発電の比率は増加していることや、再生可能エネルギーは増加しているものの全体に占める割合が低いことなど、発電の実態が明らかになっています。また、原子力発電に対する意識調査や発電コストに関するデータを提示することで、今後のエネルギー政策についての示唆を与えています。

出典  
 ・経済産業省 資源エネルギー庁 総合エネルギー統計 平成27年度（2015年度）エネルギー供給実績（概報） [http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/total\\_energy/pdf/ste\\_021.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/total_energy/pdf/ste_021.pdf)  
 ・一般社団法人 日本原子力文化財団「原子力利用に関する世論調査2015（調査結果の概要）」 [http://www.jaero.or.jp/data/03/gyoku/survey\\_jtkup.html](http://www.jaero.or.jp/data/03/gyoku/survey_jtkup.html)  
 ・経済産業省 資源エネルギー庁 総合エネルギー統計 発電11種別・燃料別・発電コスト 高規格エネルギー単価調査委員会「再生可能エネルギー単価調査報告書」 [http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic\\_policy\\_subcommittee/mitsubishi/total\\_wpp/pdf/total\\_wpp\\_03.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/committee/council/basic_policy_subcommittee/mitsubishi/total_wpp/pdf/total_wpp_03.pdf)

作品名

原子力とその他の発電どうなるの？

学校

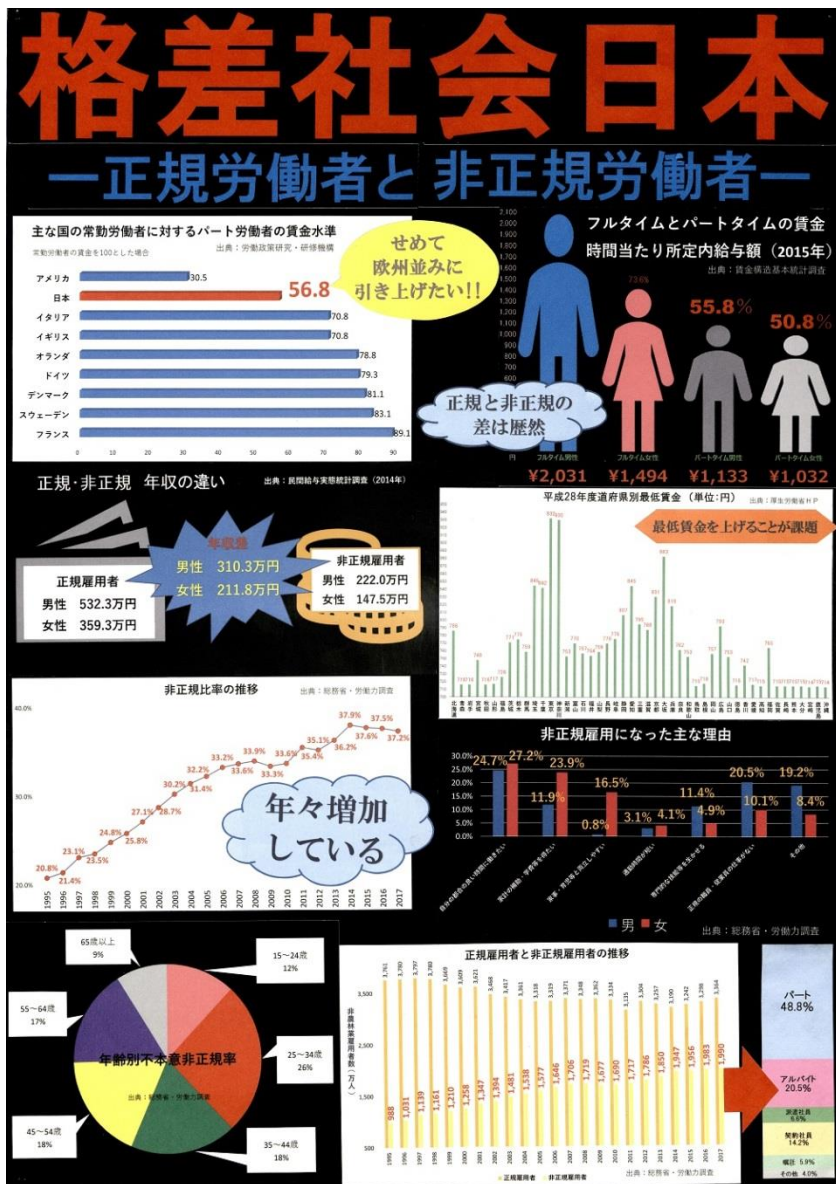
大垣市立江並中学校

学年

2年

氏名

安藤 奏名多



○ 講評

正規労働者と非正規労働者の格差という今日的な問題について、様々な資料から実態を浮き彫りにした作品です。パソコンの機能を有効に使い内容に適した見やすいグラフが作成されています。

最初に主な国のパート労働者の賃金水準やわが国の正規労働者と非正規労働者の賃金の差のデータを提示することで、見る者に内容の関心度を高めています。

その後、非正規率の推移や非正規雇用になった理由のデータを示すことでこの問題の深刻さを浮き彫りにしています。公的統計を多く利用していることにより、この作品の信頼度を高めています。

作品名 格差社会日本 —正規労働者と非正規労働者—  
 学校 大垣市立西中学校  
 氏名 中西美来(1年)・中西美羽(3年)

# パソコン統計グラフの部 入 選



○ 講 評  
パソコンの機能を有効に使い、色の統一感をもたせる工夫がされており、見やすい作品となっています。  
中学2年生はテレビ・新聞に比べてネットの情報に対しての信頼度が低いことや間違っただ情報を見つけたことがある生徒が半分以上もいることから、情報化社会の問題点を浮き彫りにしています。全体の約4分の1の生徒が情報を信じて失敗していることに関連した調査がさらに行われると、作品がさらに深まりのあるものとなります。

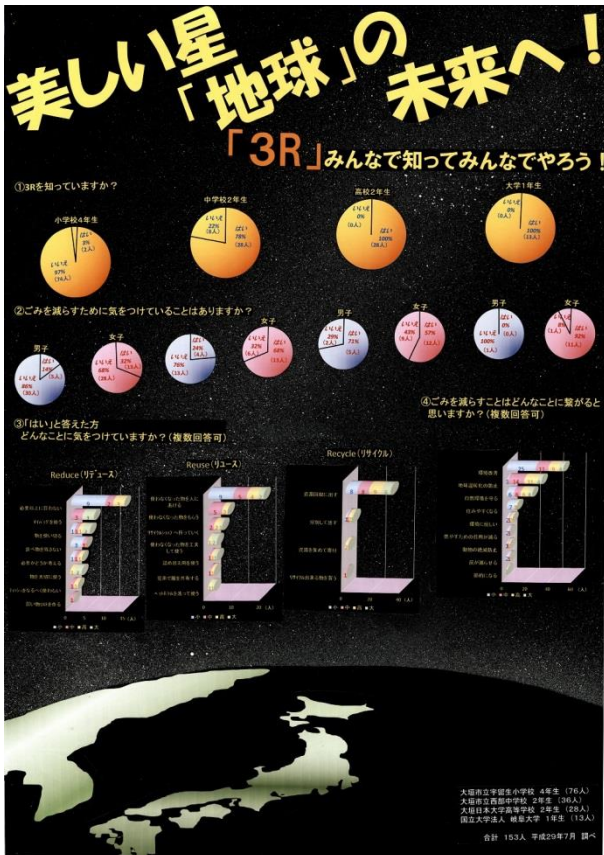
作品名 中学生の情報への意識 その情報、信じて大丈夫？ 求められるメディアリテラシー

学 校 大垣市立西部中学校

学 年 2年

氏 名 菱田 隼人

# パソコン統計グラフの部 入 選



○ 講 評  
小学校・中学校・高等学校・大学とさまざまな校種の児童・生徒からのアンケート調査を行い、3Rについての意識を浮き彫りにしようとした作品です。  
バックが黒の配色であるものの、グラフや字を明るい色にするなどを工夫することで、全体として見やすい作品となっています。校種や男女などの層別のデータから傾向が読み取れるような工夫がなされていますが、母集団の数をもっと大きくすることで作品がさらに価値あるものになっていきます。

作品名 美しい星「地球」の未来へ！

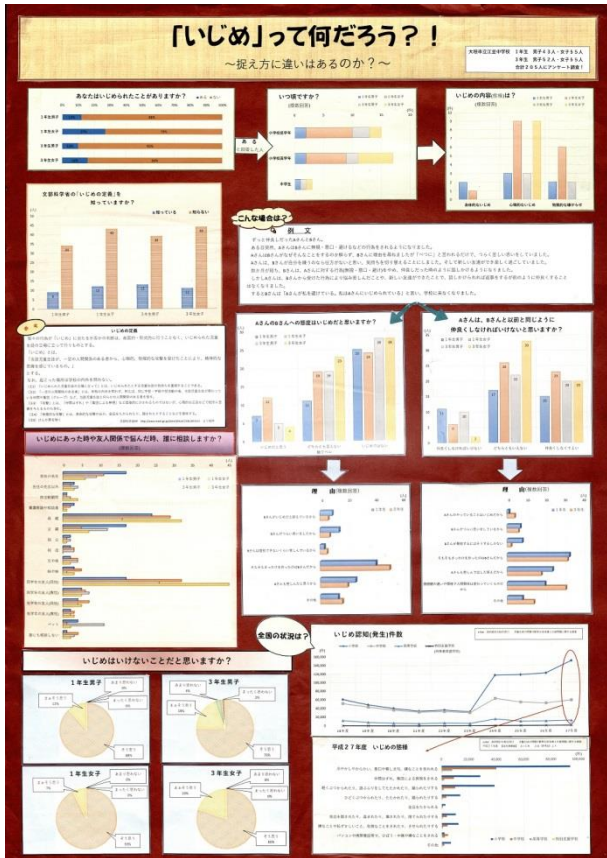
「3R」みんなで知ってみんなでやろう！

学 校 大垣市立西部中学校

学 年 2年

氏 名 後藤 利乃音

# パソコン統計グラフの部 入 選



## ○ 講 評

いじめの問題について、真正面から取り組んだ意欲的な作品です。パソコンの機能を上手く使い、多種に及ぶデータをグラフ等に見やすくまとめてあります。

アンケート調査の結果を学年男女の層別にまとめてあることで、いじめられた経験やいじめに対する男女間の意識の差が明らかになっています。また、例文を提示し、いじめについて調査をすることで、中学生のいじめに対する意識がより明確になっています。アンケートと統計データが有効に活用されています。

作品名 「いじめ」って何だろう?!

～捉え方に違いはあるのか?～

学 校 大垣市立江並中学校

学 年 1年

氏 名 戸谷 清華

## パソコン統計グラフの部 佳作



作品名 新聞広告から考えるみんなの興味

学 校 岐阜市立長良東小学校

学 年 5年

氏 名 伊藤 講太郎

## パソコン統計グラフの部 佳作



作品名 命を考える ~本当に飼えるの?~

学 校 大垣市立青墓小学校

学 年 6年

氏 名 山田 健太郎

# パソコン統計グラフの部 佳作



作品名 高齢者の交通人身事故  
 学校 大垣市立江並中学校  
 学年 1年  
 氏名 小島 汐菜

# パソコン統計グラフの部 奨励賞名簿

| 作品名                | 学校名       | 学年 | 氏名    |
|--------------------|-----------|----|-------|
| ケータイ・スマホいつ必要！？     | 大垣市立南小学校  | 小5 | 高井萌衣  |
| 中学生は大忙し！生活意識調査     | 大垣市立南中学校  | 中1 | 高井七夏  |
| 迫りくる大地震あなたの備えは大丈夫？ | 大垣市立江並中学校 | 中2 | 松岡諒   |
| あなたは知っていますか。タバコの真実 | 大垣市立江並中学校 | 中3 | 須田山織花 |
| 聞いてよ！受験生の心の叫び      | 大垣市立西部中学校 | 中3 | 川合愛紗  |